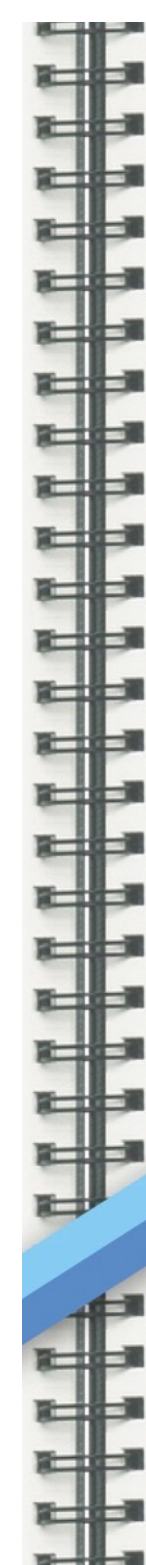


まちの読み方：まちづくりとメタ観光

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
(一社) メタ観光推進機構
真鍋陸太郎



自己紹介

所属 1 東京大学大学院 **工学系**研究科**都市工学専攻** **都市計画**研究室

- 都市計画制度（法・条例など）
- 都市計画・都市の評価
- 市街地の実態把握
- まちづくりのデザイン
- 協働のまちづくり
- 気候変動下での都市計画・まちづくり

所属 2 一般社団法人 メタ観光推進機構

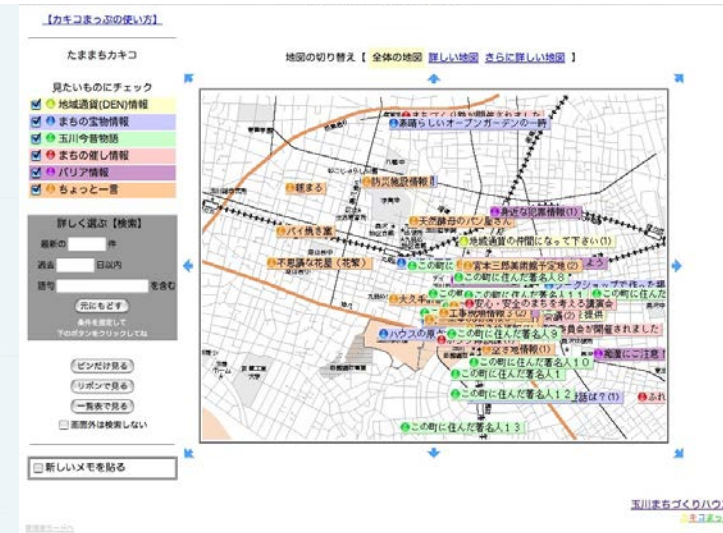
- メタ観光の実践・普及・研究

特に専門としている領域

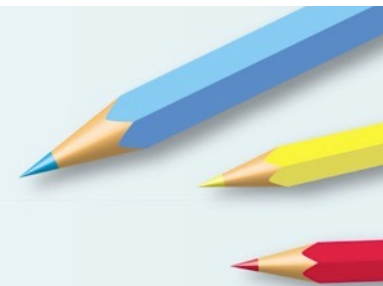
- 都市の**情報**（都市計画やまちづくりの根拠として）
- 市民**参加**（市民感覚にどこまで近づけるか）
- **ICT**の活用、まちづくり**DX**

実践

- カキコまっぷ
- 大森まちづくりフラッグ
- 文京あなたの名所ものがたり
- メタ観光



本日の内容



まちの読み方

都市・市街地を理解する手順（都市工学科の演習より）

都市計画基礎調査

Project PLATEAU

まちづくりワークショップ

歴史を知って「まち」を読み解く

まちづくりとメタ観光

すみだメタ観光祭



まちの読み方



都市・市街地を理解する手順

東京大学工学部都市工学科・都市工学演習「都市図の理解」課題書より

都市を構成する諸要素のとらえ方

- ① 自然基盤系：地形・水系
- ② サーキュレーション系：骨格的道路網、鉄道網、（上下水道、電気・ガス）
- ③ 土地利用要素系：主要公共施設、類型別市街地

※DID（Densely Inhabited District：人口集中地区）の広がりなどで市街地の展開の経緯を把握する。

※市街地の形態は歴史的な意味の上に構成されている（城下町、宿場町、街道など）。

※一般にヨーロッパの都市では、歴史形成過程が平面的・同心円上に展開するが、日本の都市では重層的に展開することも多い。





- ①地形・水系を読み取り、表現する
 - 地形的区分の境界になりそうな等高線を適宜選び、表現する
 - 主要な河川・水路について表現する
- ②主要交通網、交通施設
 - 鉄道、駅
 - 主要道路の配置（できれば整備予定路線も破線などで）
- ③主要施設の位置・種類
 - 官公庁、学校、公園、病院、その他主要な公共施設
- ④市街地の広がり・農地山林のひろがり（大きな土地利用区分）
 - 山林、農地、市街地のおおまかな区分
- ⑤市街地の類型的区分（詳細な土地利用区分）
 - 主に、道路や街区パターン、市街化度（宅地化の程度）、敷地・建物の用途・規模・形態に着目して、同種の市街地（地区）を括り、色やパターンで分かりやすく区分表示する

都市計画の基礎となる情報を集める都市計画基礎調査



- 都市計画法第6条 ※現行の都市計画法は1968年
 - 都道府県は、都市計画区域について、おおむね**五年**ごとに、都市計画に関する基礎調査として、国土交通省令で定めるところにより、人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量その他国土交通省令で定める事項に関する現況及び将来の見通しについての調査を行うものとする。
- 都市計画基礎調査を見ることで、当時の**都市課題**を知ることができる
 - 何を調査するのは、何が課題かにもとづく
- **経年的に蓄積**されている都市に関する**貴重なデータベース**とも言える。

- これまでに策定された調査のためのマニュアル

1919年 (旧) 都市計画法

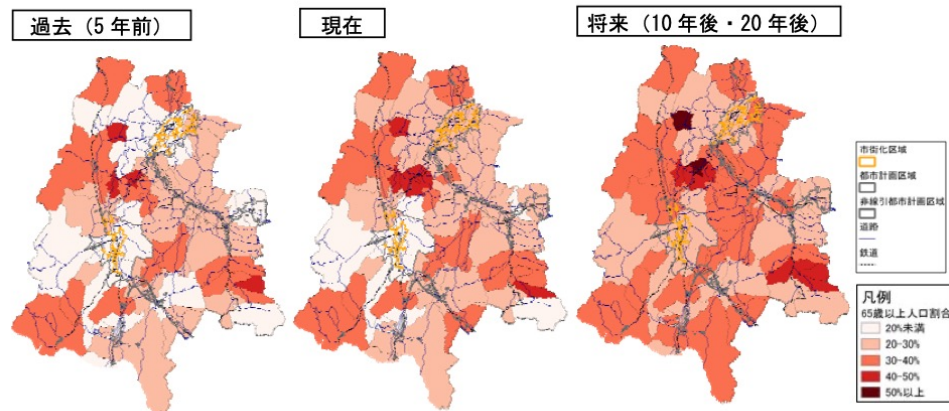
- 都市計画調査資料および計画標準 昭和8 (1933) 年7月20日
 - 時間帯の表示が30分以内を5分刻みで指示
→当時の交通手段と市街地の広がりがわかる
 - 道路交通量調査に、電車・自動車に加えて、歩行者・荷車・自転車^①が明記
→交通手段がわかる
 - 河川・運河などの水路^②、沿岸土地利用、船舶関連の詳細な資料を要求
→水運が都市にとって重要
 - 井戸の水質の良・不良区域の図示
→飲水として井戸水が大事
- 都市計画基礎調査要項 昭和27 (1952) 年4月、10月に一部改訂
 - 調査の部と計画の部の2部構成
→計画の方法の開発と調査の計画立案への橋渡しを強く意図

1968年 都市計画新法 制定、基礎調査は第6条に規定

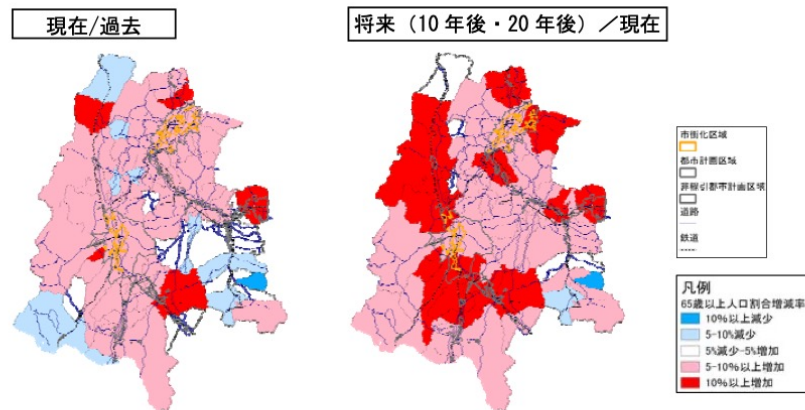
- 都市計画基礎調査実施要項 (案) 昭和44 (1969) 年
 - 一定の地域における人の動きを調べ、交通機関の実態を把握する調査
 - 高度成長の進展過程で市街地が高密化・複雑化 →調査上の建物の種類も多様化
- 都市計画基礎調査実施要領 昭和62 (1987) 年
- 都市計画基礎調査実施要領 平成25 (2013) 年、平成31 (2019) 年、令和3 (2021) 年

■市町村毎の高齢者人口割合及びその変化

- ・市町村毎の高齢高年齢人口割合の変化の状況を把握する。



※将来については、10年後、20年後の推計結果を示す

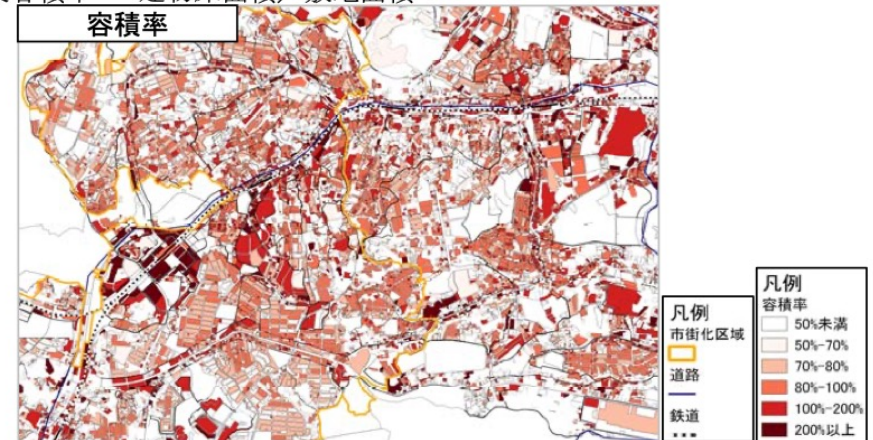


※将来（10年後、20年後）それぞれについて、現在からの変化率を示す

■容積率

- ・敷地ごとに実容積率を集計し、作図する。

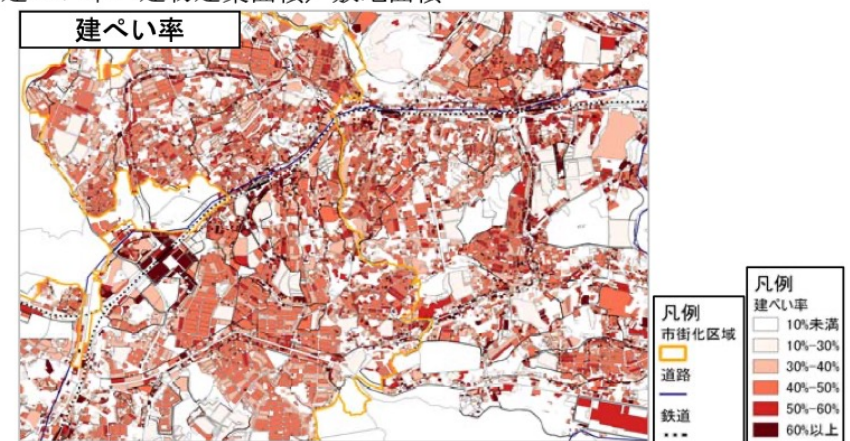
◆実容積率 = 建物床面積 / 敷地面積



■建ぺい率

- ・敷地ごとに実建ぺい率を集計し、作図する。

◆実建ぺい率 = 建物建築面積 / 敷地面積



国土交通省「都市計画基礎調査データ分析例（案）」（2013）より

国土交通省 Project PLATEAU

- 国土交通省が主導する、日本全国の **3D都市モデル** の整備・活用・オープンデータ化プロジェクト。2021年～

- LOD1～LOD4

- ソリューション開発

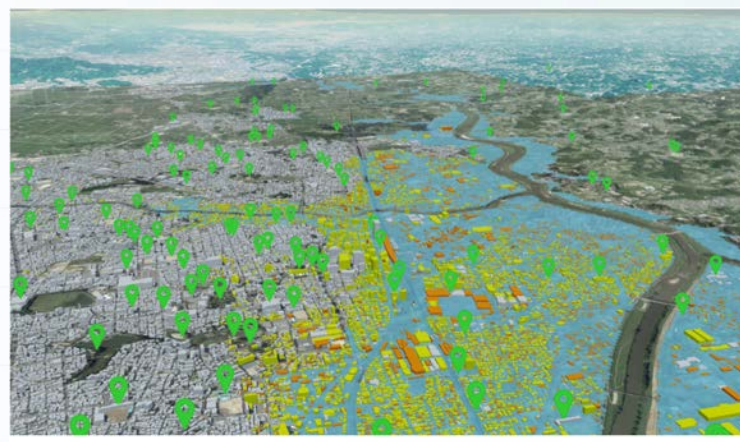
- 都市活動モニタリング
- 防災
- まちづくり

- デジタルツイン、メタバースへの展開も可能**

CityGMLの LOD 概念



データ計測範囲（横須賀市3D都市モデル+計測ルート）



UC_ID_2-002

垂直避難可能な建築物の可視化等を踏まえた防災計画検討



UC_ID_3-006

太陽光発電のポテンシャル推計及び反射シミュレーション

Project PLATEAU ホームページより, <https://www.mlit.go.jp/plateau>

地域 みんなが情報源 まちづくりワークショップ

- まちづくりワークショップ
 - 住民が中心になって地域の課題を解決しようとする場合に、ワークショップの手法がよく用いられる。
地域にかかわるさまざまな立場の人々が自ら参加して、地域社会の課題を解決するための改善計画を立てたり、進めていくまちづくりのための共同作業。
- 住民参加による都市の情報の共有
 - Citizens as Sensors (Goodchild, 2007)
Volunteered Geographic Information (VGI) is the harnessing of tools to create, assemble, and disseminate geographic data provided voluntarily by individuals.
 - VGIは個々人から自主的に提供された地理的情報を、作ったり、集めたり、あるいは普及したりするための道具が結びついたものである。
 - 地理的な情報を市民から得る
 - 市民を「センサー」として捉える
- 住民はまちの「スペシャリスト」
 - まちについては、都市計画やまちづくりの専門家よりも住民が詳しく知っている

- いろいろなまちづくりワークショップ（手法）
 - ガリバー地図：ガリバーになったように街のことは見る
 - まちづくりデザインゲーム：ロールプレイしながら考える
 - まちづくり年表づくりワークショップ：まちづくりを振り返りながら
 - 札幌1000人ワークショップ：大規模



- いろいろなまちづくりワークショップ（手法）
 - テレフォノスコープ+あなたの名所ものがたり：深い個人の気持ちを聞き出したい
- テレフォノスコープ
 - 親しみやすさと一種の回顧感を誘起するためにダイヤル式黒電話をもちいている
 - 音声のみの簡易型デジタルストーリーテリング（デジタル機器を使って、日常の出来事や想いを語った作品をワークショップ形式で作り出す。動画や写真に自分の声でナレーションを入れた2分程度の映像作品）の装置
- あなたの名所ものがたり
 - 文京区にある多くの名所・旧跡を一般的・教科書的な説明ではなく、そこに住む方や訪れる方の各々のものがたりとして語ってもらう
 - 簡易なデジタル・ストーリーテリングの手法を使用
 - コミュニティの情報を蓄積＝現代的なコミュニティ・カルテを構築
 - 地域の資源として（デジタル）コミュニティ・アーカイブとして蓄積
 - 地域の活力向上やまちづくりへいかしていこうというねらいを持っている
 - いまのものがたりも歴史になる（文京ふるさと歴史館の事業）



• さよなら菊水湯

- 菊水湯が廃業した際に、**菊水湯の思い出（記憶）**をさまざまな形で残そうとしたイベント。
- その1つとして**テレフォノスコープ**を使った**音声**による記録も行った。

• 集められた声の例

- 菊水湯についての多くの思い出が語られ、**語りながら涙を流し出す**方もいた
- いつも、ひとりで来てましたが、本当に自分にとってはかけがえのないものでした、いろんなことを考えたりとか、いままで自分自身がどういうふうに、お風呂に携わってきたか、ということを見ると、今回菊水湯が無くなってしまうことは悲しいです、お金があれば、継いだりとか保存とかいうことを出来たかもしれないんですけど、いつかは自分もお風呂屋さんを営業したいと思っているので、こういった文化が無くなっていかないように今後貢献していけたらと思います、非常に残念ですが、今日という日をきちんと保存し、みなさんに愛された菊水湯を忘れないようにします、ありがとうございました



幼児体験としての東大学生運動

美樹子

0:00 ●

-2:43

ここは本郷弥生交差点。これからの季節、街路樹のイチョウの黄葉と東大のレンガ塀がきれいなのかな道ですが、今から約50年前のある朝、いつものように幼稚園に行こうと本郷郵便局の前に出たところが、きのうまできれいに敷かれていた歩道の石畳がなくなり、道がデコボコになっていました。なんと、夜のうちに大学生たちが投石用に石畳を壊して持ち去っていたのです。

本郷にとって、学生運動はこの半世紀の一大トピックです。当時はヘルメットをかぶり、タオルのマスクで顔をかくし、ものすごい数の学生たちが、この本郷通りを毎日のようにデモ行進し、講内でアジ演説、門の前にはスローガンを書いた立看というのが、日常の光景でした。

それでも、そのような学生は近所じゅうにあった下宿に住んでいるお兄さんたちで、「コワイ」という印象はなく、母にも「デモに巻きこまれないようにしなさいね」と言われていた程度でした。

そんな毎日が終わったのが、安田講堂事件でした。1969年1月のあの時は、前日から物々しさが始まっていました。警察官が近所の家々を訪ね、「あしたは外に出ないでください。学生が逃げてくるかもしれませんので、門は開けておかないでください」と言ってまわっています。テレビカメラや記者の姿もあちこちで見かけます。

そして迎えた当日、家族でテレビの前に集まって、すぐそこで起きていることを中継映像で見っていました。お昼頃になると、サッシの部屋はよかったのですが、木枠のガラス窓の部屋は催涙ガスが家の中まで入ってきて目が痛くなります。テレビの中の学生たちは、とても目など開けていられないだろうとハラハラしながら、手に汗握っていました。

有名な、安田講堂で旗を振っているシーンの頃には、胸一杯、という、現実なのか疑似体験なのかわからないような一日でした。後日、安田講堂の広場で火焰ビンの跡が無残なケロイドのように残っていたのをよく覚えています。

通り沿いのお店ではウィンドウが割られるなどの被害があったとも聞きます。しかし今から考えると当時はずっと近所の住人たちが温かく学生の活動を見守り応援していました。大学と地域の関係がだんだん薄れてきているようなのがちょっと寂しく思える最近です。



2017年8月8日（火）

※ 閉じる

ああ・・・ポテコ・・・

みほ



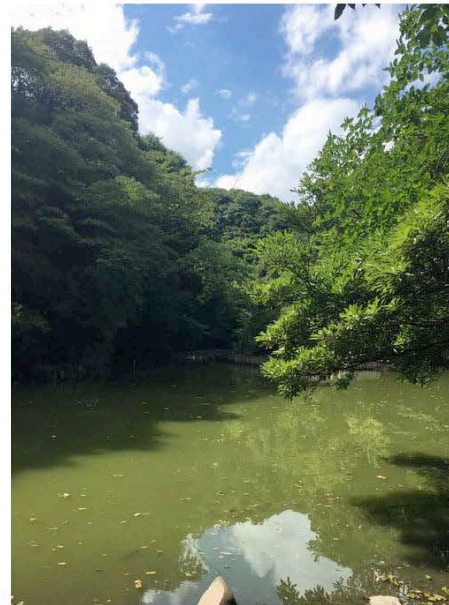
私は友達と少し前の春に東大にきました。

その時に一番驚いたのは、その子のポテコを鯉が食べたことです！

まず、友達のお母さんが、その子に「ポテコ、鯉にあげてみない？」と聞きました。その子は「嫌だよ！もったいないじゃん！！！！」と言いましたが、結局鯉にあげることになりました。おそろおそろ鯉にあげました。すると、鯉はポテコをパクッ！と食べたのです！（驚）そして、たくさんポテコをその子はあげました。鯉が口をあけた瞬間を写真にとりたいそうです。

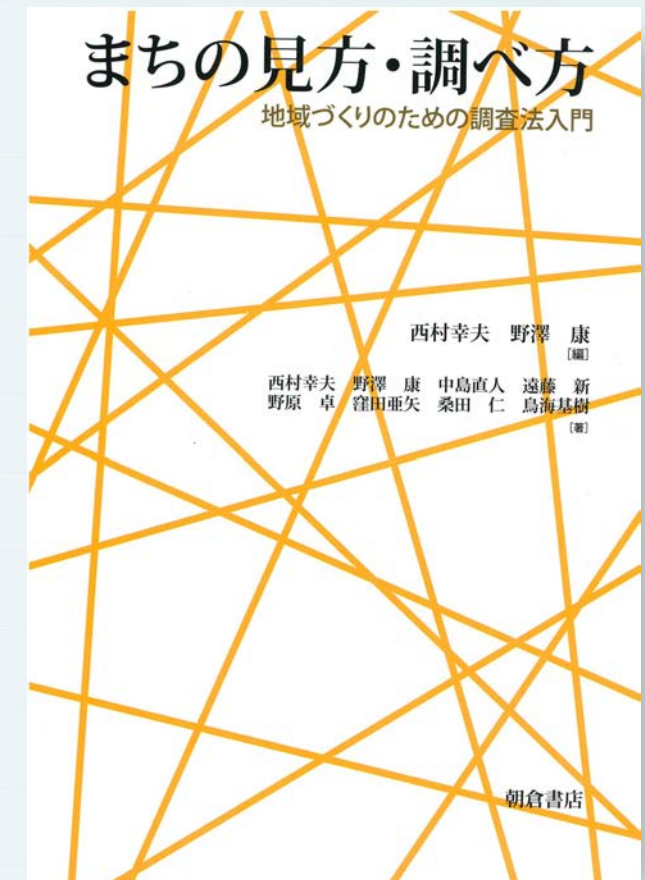
その結果、ポテコがほとんどなくなりました。

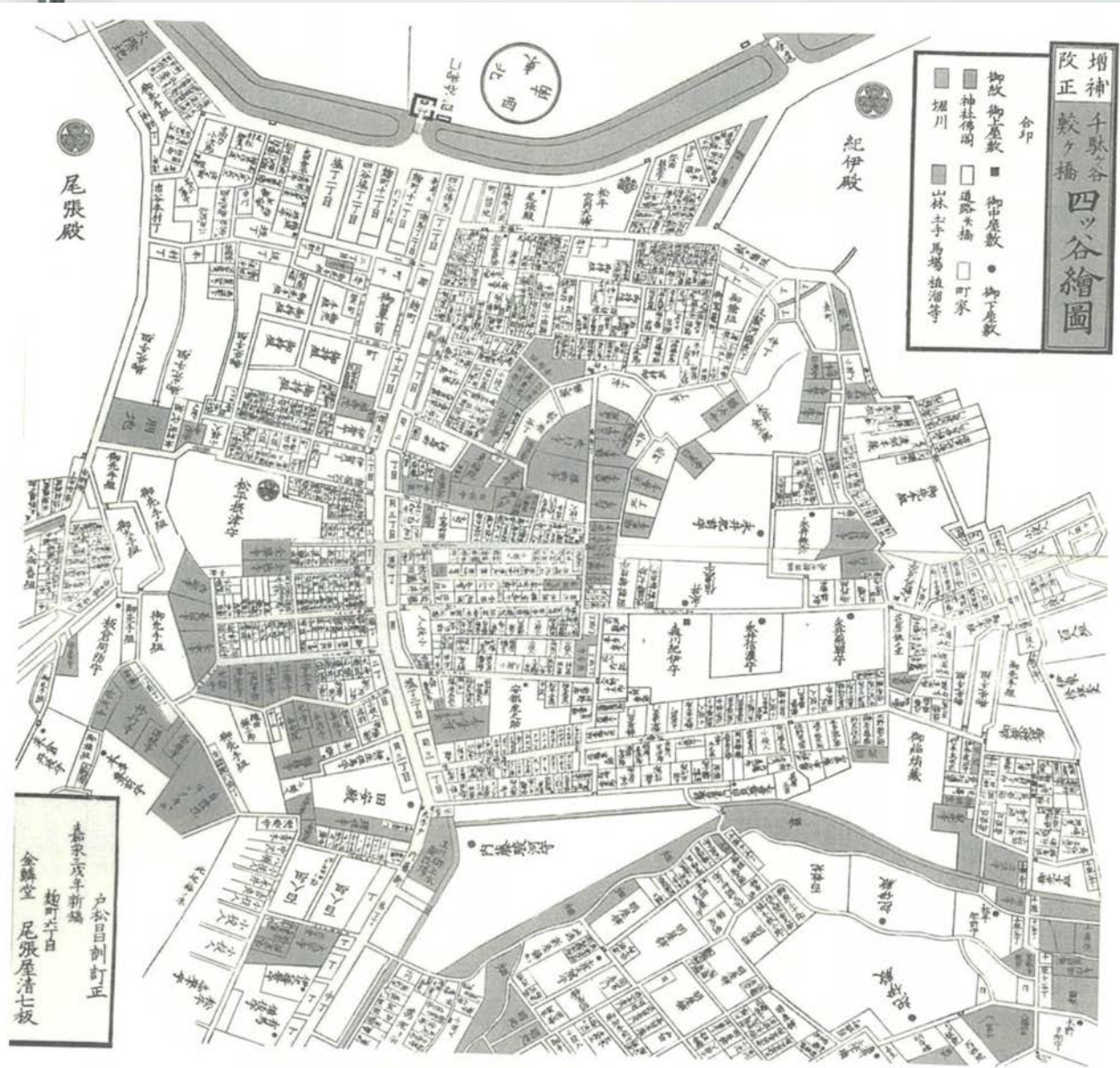
その子は「ああ・・・」という顔をしていて、ちょっとかわいそうだなと思いました・・・。



歴史を知って「まち」を読み解く

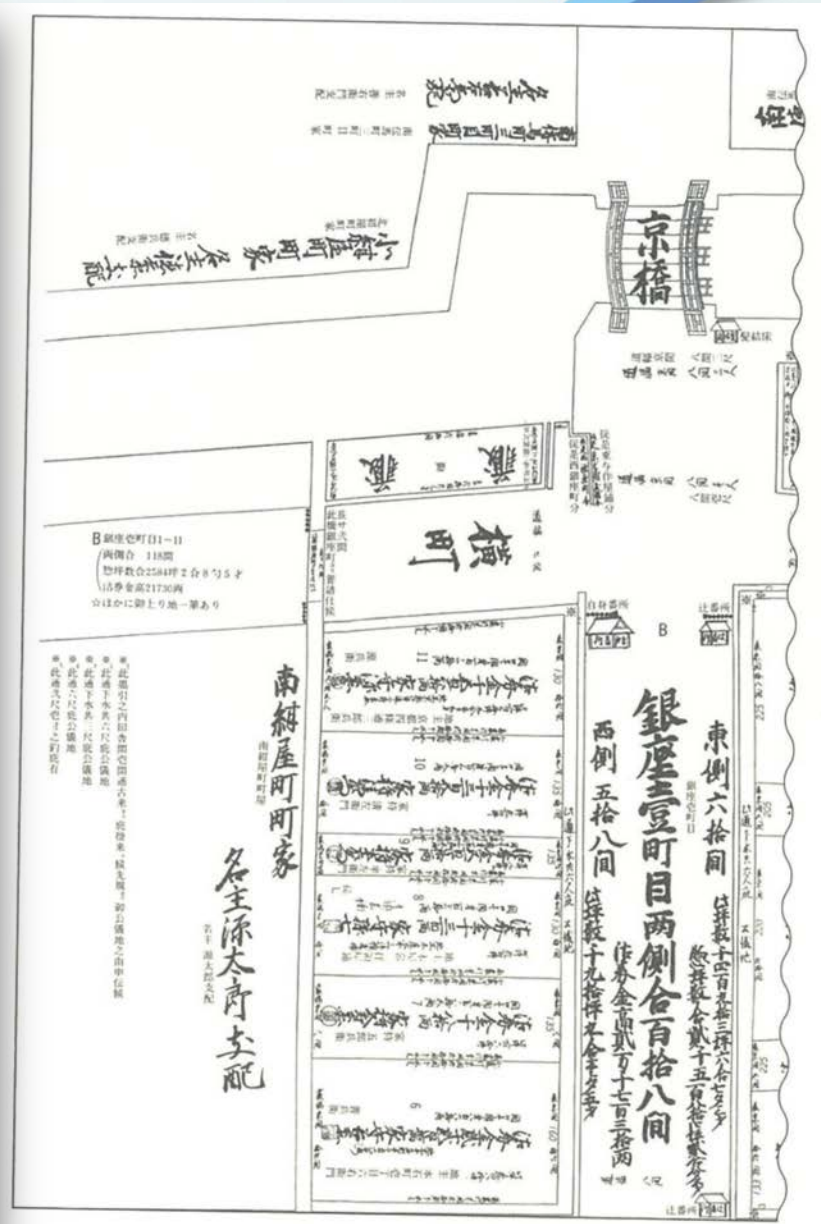
- 西村幸夫・野澤康（編）「まちの見方・調べ方」朝倉書店, 2010
- 歴史を知るとは？（中島直人, pp.3-18）
 - 地域づくりにとって「歴史を知る」とは、基本的には「その地域がどのように形成されてきたのか」を知ることである
 - 文献を読み解き、ときに古老にお話をおうかがいし、郷土の偉人の生涯や、地域のかつての民族・風習といった無形の歴史を理解する
 - 眼前に広がっている地域環境を、さまざまな時代の環境が折り重なって蓄積したものと理解して、その歴史の重なりを具体的にひもとく…有形の環境の変遷…





■図1.3 江戸切絵図（四谷周辺）

嘉永3（1850）年，尾張屋版。出典は『地図で見る新宿区の移り変わり 四谷編』（新宿区，1983年）（口絵1 参照）。



■図1.4 沽券図

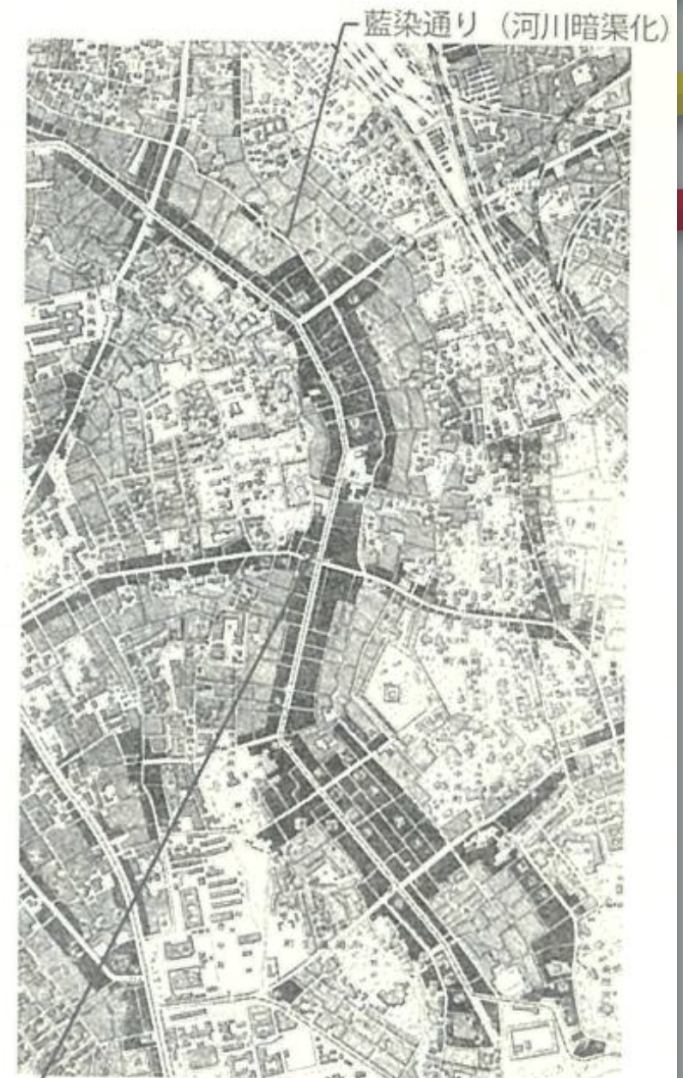
出典：中島直人，第1章 歴史を知る，西村幸夫・野澤康（編）「まちの見方・調べ方」朝倉書店，2010



明治 13 (1880) 年



明治 42 (1909) 年



昭和 12 (1937) 年

0m 100m

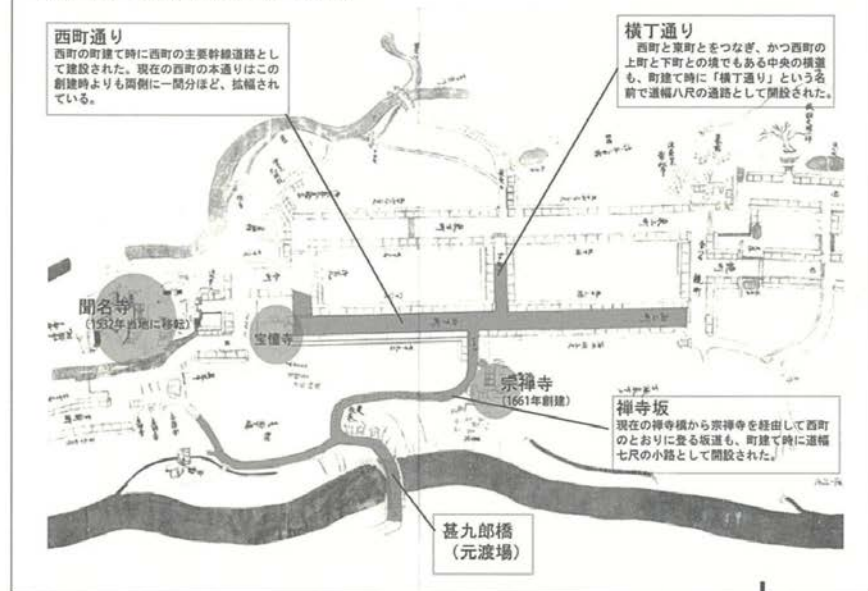
■図 1.6 地形図による地域の形成過程の把握 (筆者作製)

藍染川 (東京都文京区／台東区) がつくる谷筋に、「不忍通り」が順次開設されていく過程が把握できる。

出典：中島直人, 第1章 歴史を知る, 西村幸夫・野澤康 (編) 「まちの見方・調べ方」朝倉書店, 2010

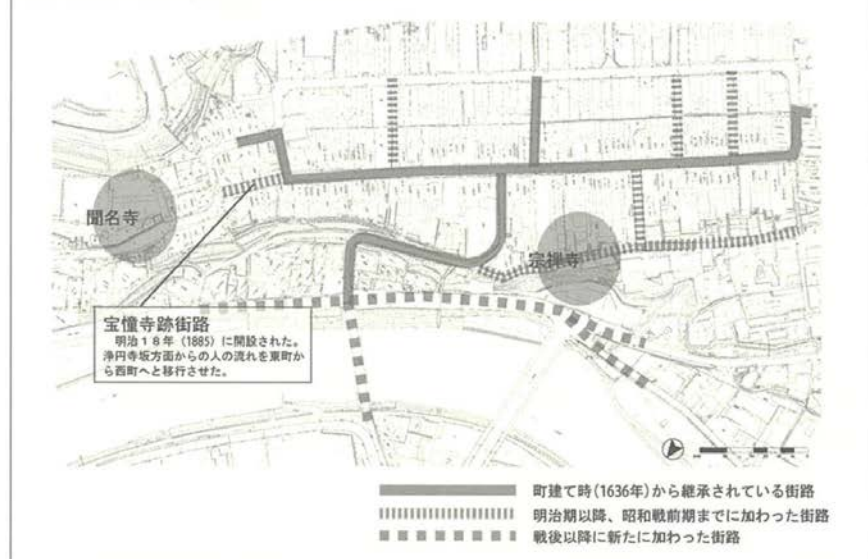
天保 14 年 (1843 年)

(絵図は『続八尾町史』収録)



現在 (2005 年)

(地図は八尾町提供)



■図 1.2 近世の絵図と現在の地図の比較分析 (富山市八尾町, 筆者作製)

天保時代の絵図と現在の地図を比べ、街路網や寺社に注目してまちの形成過程を読み解いている。

1974 年住宅地図



1974 年の商いの連なり

6軒	1	平均 3.03軒
5軒	2	
4軒	4	
3軒	5	
2軒	8	
1軒	12	

1981 年住宅地図

平均 2.23軒

1991 年住宅地図

平均 1.67軒

2004 年住宅地図



2004 年の商いの連なり

6軒	1	平均 1.46軒
5軒	0	
4軒	0	
3軒	3	
2軒	2	
1軒	22	

■図 1.9 住宅地図によるまちの変容分析: 富山市八尾町の商店の変遷 (1974 ~ 2004) (筆者作製)
ここ 30 年の商店街の変容を住宅地図で追跡し、「商店の連なり」という指標で「まちの賑わい」の喪失を表現している。

出典: 中島直人, 第 1 章 歴史を知る, 西村幸夫・野澤康 (編) 「まちの見方・調べ方」朝倉書店, 2010

まちづくりとメタ観光



「メタ観光」とは？



- 地域の魅力や文化資源の**多様な見えない価値**（アニメ聖地、インスタ映え、微地形、個人の思い出など、これまで観光資源として捉えられてこなかったものも含む）を**多層レイヤーのオンライン地図**に可視化して楽しむ新しい観光



1977年 池波正太郎
『散歩の時に何か食べたくなって』に登場

2000年 東京都選定歴史的建造物に選定

2005年 『仮面ライダー響鬼』
ロケ地「甘味処たちばな」として登場

2013年 『ラブライブ』
高坂穂乃果の実家「和菓子屋穂むら」のモデル

2016年 『ポケモンGO』モンスター



(写真の出典) [竹むら外観] 江戸村のとくそう：CC BY-SA 3.0 <https://ja.wikipedia.org/wiki/竹むら>

メタ観光が実現するもの

- ① 従来の文化・観光資源の高付加価値化
- ② 地域の価値の可視化により観光資源の増加

従来の文化・観光資源

「秋葉神社」のみの表記



付加価値化

「秋葉神社」の多様な価値



従来の観光資源



レイヤー(層)を追加

- アニメ聖地
- インターネットで話題
- 建築
- 映画・テレビロケ地
- 浮世絵
- 歴史
- 地形

メタ観光では多様な観光資源を可視化



すみだメタ観光祭



名称	すみだメタ観光祭
会期	2021年9月～2021年12月
会場	東京都墨田区各所
主催	一般社団法人メタ観光推進機構
共催	墨田区
後援	一般社団法人墨田区観光協会
連携	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会
委託元	ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業 (文化庁委託事業)
公式サイト	https://sumida.metatourism.jp/

すみだメタ観光祭で実施したこと

- 3つのワークショップ
- 4名のアーティストによる作品
- メタ観光マップ
- メタ観光オンライントーク「すみだ新視点」
- 展覧会「すみだ新景」
- メタ観光まちあるきツアー
- 観光会議「メタ観光マップで考えるこれからのすみだ」



すみだメタ観光マップ

<https://metatourism.jp/maps/sumida.html>



※すみだメタ観光マップはumap（OpenStreetMap project / オープンソース）を使用しています

すみだメタ観光マップに入力されたタグ

既存のさまざまな情報

文化遺産オンライン

すみだ
まち歩き博覧会

北斎ゆかりの地
MAP

出沒！
アド街ック天国

【聖地巡礼】
アニメツーリズム

デイリーポータルZ

青空文庫

墨田区
すみだ小さな博物館

ジャパンサーチ

錦絵で楽しむ江戸の
名所（国会図書館）

...

60のレイヤー



1700以上のタグ

ひとつの地図に、多層に。



すみだメタ観光祭による
新たな観光資源



すみだメタ観光マップのレイヤー



すみだメタ観光祭

写真で紡ぐ街の物語（すみだメタ観光祭）
魅力的な電線（すみだメタ観光祭）
魅力的な暗渠（すみだメタ観光祭）
魅力的なドンツキ（すみだメタ観光祭）
架空荘の作品（すみだメタ観光祭）
本城直季の作品（すみだメタ観光祭）
大村雪乃の作品（すみだメタ観光祭）
すみだ観光見立て地図（すみだメタ観光祭）

買食 物事

人気のレストラン
老舗のお店
スイーツ食べ歩き
純喫茶巡り

文化・アート

江戸名所図会
葛飾北斎ゆかりの地
浮世絵で描かれた場所
小林清親・川瀬巴水・井上安治が描いたすみだ文化財
文学スポット
作家が書いたすみだ
すみだ小さな博物館
パブリックアート
鬼平犯科帳ゆかりの地
落語の舞台
本所七不思議

まちあるき

ものづくりスポット
建築巡り
土木巡り
デザインマンホール
「ワンダーJAPAN」で紹介
昭和スポット
御朱印巡り
墓巡礼
発祥の地巡り
階段巡り
東京の坂道
狛犬巡り

スパ・銭湯巡り
サウナ巡り
相撲にまつわるスポット

ロケ地

出沒！アド街ック天国
プラタモリ
孤独のグルメ
町中華屋で飲もうぜ
有吉くんの正直さんぽ
アニメ聖地
広告で取り上げられたスポット
テレビや映画のロケ地
雑誌・新聞で取り上げられたスポット

歴史

松尾芭蕉ゆかりの地
忠臣蔵ゆかりの地
明治・大正時代の写真
史跡・名所
歴史散歩
街道巡り

スポーツ・ビュー

日本百選
インスタ映えスポット
スカイツリー・ビュースポット
夜景スポット

でネット話題

ネットで話題のスポット
タイムアウト東京で紹介されたスポット

1つの場所に多層レイヤーのタグ

レイヤー：葛飾北斎ゆかりの地

葛飾北斎『新板浮絵三囲牛御前両社之図』

場所：三囲神社



浮絵と呼ばれる透視画法で隅田川、現在の三囲（みめぐり）神社、牛嶋神社が描かれています。江戸時代の牛御前と三囲稲荷社は、現在とは逆の位置関係にありました。低地にあった三囲神社は、隅田堤から鳥居の頭がのぞく、三囲の大鳥居が評判で、多くの浮世絵にも登場しています。現在の牛嶋神社では、近隣に住んでいた時期の北斎が妻といた『酒仕立里金屋抽湯治う図。の御宇バネ』

レイヤー：落語の舞台

「野ざらし」

場所：三囲神社



朝一番、御隠居の元に隣に住む八っあんがやって来て、昨夜、御隠居のところに女性がいたが、どうしたんだと尋ねます。御隠居によると、向島の三囲神社の堤下で釣りをした帰り、野ざらしの人骨を見つけて回向をした

レイヤー：歴史散歩

「向島めぐり 江戸っ子憧れの行楽地を歩く」 竹屋の渡し跡

場所：竹屋の渡し跡

江戸時代、三囲神社の鳥居のそばと対岸の山谷堀（浅草）は渡し船でつながっていました。対岸の舟宿「竹屋」は「江戸っ子憧れの行楽地」を歩くと、竹屋の渡し跡

レイヤー：スカイツリー・ビュースポット

三囲神社

場所：三囲神社

午後の撮影がオススメです。

レイヤー：作家が書いたすみだ

岡本綺堂『綺堂むかし語り』

場所：三囲神社



めぐり）の
農家の前
神社の

レイヤー：鬼平犯科帳ゆかりの地

「鬼平犯科帳 ゆかりのスポット読み歩き〈押上村コース〉」 三囲神社

場所：三囲神社



鬼平犯科帳をはじめ、剣客商売などでもおなじみのお寺です。鬼平犯科帳の「迷路（メイロ）」では、玉村の弥吉が妙法寺の九十郎と出会い、盗みに誘われる舞台となっています。

レイヤー：浮世絵で描かれた場所

歌川広重『隅田川両川岸一目の月』

場所：隅田川・三囲神社

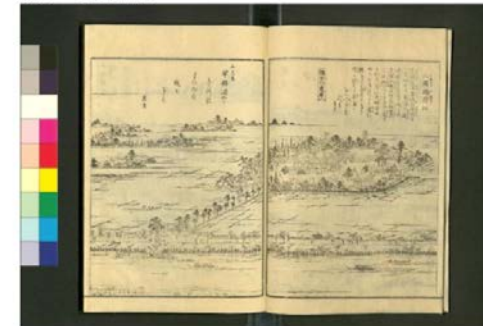


江戸時代は、幾度となく隅田川が凍り、積雪も珍しくなほど寒冷な気候でした。世界各地に厳寒をもたらした小氷期（14-19世紀）の影響です。本図は、風景画初代歌川広重の作画で、雪景色の名所を描いた連作の1図。手前右側は三囲稲荷社（みめぐりいなりのやしる）の鳥

レイヤー：江戸名所図会

三囲

場所：三囲神社



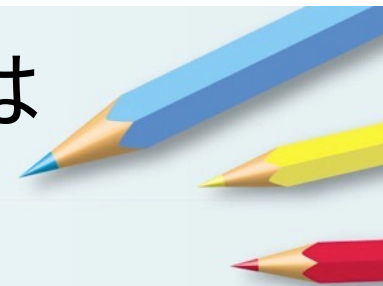
三囲神社（みめぐりじんじゃ）

レイヤー：狛犬巡り

「東京狛犬倶楽部」で紹介：江戸時代の狛犬達 三囲神社
場所：三囲神社



「メタ観光」の目指す5つのテーマは 持続可能なまちづくりに合致する



- 観光DX
 - 地域の文化資源・観光資源を緯度経度を軸に統合したデータベースとして、様々なアウトプット可能な形にする
- ダイバーシティ
 - 旅行者のニーズが多様化した時代の多様な価値を可視化する
- マスから個性へ
 - 「100万人を集める1カ所」から、「1万人を集める100カ所」へ。ウィズコロナ時代の分散型観光＆マイクロツーリズムに対応した観光。
- サステイナブル
 - 必ずしも新たに文化・観光資源を作る必要がなく、見えない価値を可視化する観光
- シビックプライド
 - 可視化により自分たちの地域のことをあらゆる価値から見直すことにより、地域のことをより知ることができる

メタ観光を実現するために必要なこと

- ・ オープンで使いやすいデータベースがメタ観光の基盤
 - データベースの相互接続
 - データベース構造
 - 権利処理 他

すみだメタ観光祭

写真で紡ぐ街の物語（すみだメタ観光祭）
魅力的な電線（すみだメタ観光祭）
魅力的な暗渠（すみだメタ観光祭）
魅力的なドンツキ（すみだメタ観光祭）
架空荘の作品（すみだメタ観光祭）
本城直季の作品（すみだメタ観光祭）
大村雪乃の作品（すみだメタ観光祭）
すみだ観光見立て地図（すみだメタ観光祭）

買食物事

人気のレストラン
老舗のお店
スイーツ食べ歩き
純喫茶巡り

文化・アート

江戸名所図会
葛飾北斎ゆかりの地
浮世絵で描かれた場所
小林清親・川瀬巴水・井上安治が描いたすみだ文化財
文学スポット
作家が書いたすみだ
すみだ小さな博物館
パブリックアート
鬼平犯科帳ゆかりの地
落語の舞台
本所七不思議

まちあるき

ものづくりスポット
建築巡り
土木巡り
デザインマンホール
「ワンダーJAPAN」で紹介
昭和スポット
御朱印巡り
墓巡礼
発祥の地巡り
階段巡り
東京の坂道
狛犬巡り
スパ・銭湯巡り
サウナ巡り
相撲にまつわるスポット

ロケ地

出沒！アド街ック天国
プラタモリ
孤独のグルメ
町中華屋で飲ろうぜ
有吉くんの正直さんぽ
アニメ聖地
広告で取り上げられたスポット
テレビや映画のロケ地
雑誌・新聞で取り上げられたスポット

歴史

松尾芭蕉ゆかりの地
忠臣蔵ゆかりの地
明治・大正時代の写真
史跡・名所
歴史散歩
街道巡り

スポットビュー

日本百選
インスタ映えスポット
スカイツリー・ビュースポット
夜景スポット

でネット話題

ネットで話題のスポット
タイムアウト東京で紹介されたスポット

まとめに替えて：



- 「まち」や都市のデジタルアーカイブとして
 - 何をアーカイブするか？
 - あなたの名所ものがたりのようなものは何なのか？
 - コミュニティ（デジタル）（歴史）アーカイブは成立するか？
 - どのように使うか？
 - まちづくりのためのデータベースとは何か？
 - 観光資源としてのデータベースとは何か？
 - 技術的・制度的な使いやすさは？
 - 何に価値を求めるのか？
 - アーカイブはアーカイブとして粛々とあるべきか？
 - アーカイビングとして総体をデザインすべきか？
 - 誰がアーカイブを作っていくか？
 - 主体性を持ったアーカイビングは有用か？